

海外安全対策情報（2022 年 10 月～12 月）

1 社会・治安情勢

ニカラグアでは、デモ・集会等の実施には警察の許可が必要であり、現在、取締り強化のため許可が下りないことから、反政府団体による大規模な抗議運動は発生していません。しかし、突発的に抗議運動が発生する可能性は否定できませんので、最新情報をインターネット、SNS等でご確認ください。

治安情勢は、300 人以上の死者を出したとされる 2018 年の社会騒乱からは落ち着きを取り戻しましたが、2020 年ハリケーン被害による経済の失速、新型コロナウイルス感染症の蔓延による経済的な苦境が続く中、2020 年から 2021 年にかけて断続的に大量の一般囚人を恩赦で釈放したこともあり、犯罪の認知件数が上昇するなど治安情勢の悪化が見られます。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）一般犯罪凶悪犯罪の傾向

ニカラグアでは、バイクに乗った男二人組による路上強盗、タクシー強盗、バス内での拳銃を使用した強盗、コンビニ強盗等が発生しています。犯人は必ず拳銃、刃物等の凶器を携帯し、被害者が抵抗した場合、容赦なく攻撃するので、万が一被害に遭ったときは、絶対に抵抗しないことが重要です。さらに、強盗等の被害事例を分析すると、日時・場所を問わず路上を歩行中に被害に遭うことが多いため、移動の際にはたとえ短い距離であっても車両を利用することをお勧めします。

（2）日本人の被害例

ア 2022 年

● 窃盗（ひったくり）

3 月 10 日（木曜日）午後 6 時 30 分頃、マナグア市において、被害者が窓を開放したタクシー内でスマートフォンの画面を見ていたところ、信号で停車した際、徒歩で近づいた若者から突然スマートフォンをひったくられる盗難被害にあった。

● 窃盗（置き引き）

3 月 17 日（木曜日）午後零時頃、マナグア県ポチョミル海岸において、被害者がサーフィンをしている際、浜辺に置いておいたバッグ内の携帯電話をバイクに乗った若者に盗まれた。

イ 2020 年

● 窃盗（客室狙い）

9 月 11 日（金曜日）午後 1 時から午後 6 時 30 分までの間、マナグア市内のシ

ショッピングセンター「メトロセントロ」付近のアパートにおいて、被害者が外出した間に何者かに侵入され、スーツケース在中の現金を盗まれた。

ウ 2019 年

● 窃盗（置き引き）

10 月 8 日（火曜日）午後 4 時頃、被害者がリバス県からコスタリカ行きのバスに乗車し、旅券・現金・パソコン・カード類等在中のリュックサックを網棚に乗せていたところ、盗難被害に遭った。

エ 2018 年

● 恐喝

3 月 14 日（水曜日）午後 8 時 30 分頃、被害者がマナグア市ロス・ロブレス地区の路上を単独で歩行中、前方から来た男に所持していたカバンを渡すよう要求されたため、即座に鞆を差し出したところ、男は危害を加えることなく、仲間の男と共にバイクで逃走した。

● 強盗（拳銃使用）

6 月 6 日（水曜日）午後 2 時 30 分頃、被害者 2 名がマナグア市ビジャ・サントフェ地区の路上を歩行中、後方から来たバイクに乗った二人組に拳銃を突きつけられたため、所持していた鞆を差し出したところ、男らは危害を加えることなくバイクで逃走した。

● 強盗（刃物使用）

12 月 14 日（金曜日）午後 6 時頃、マナグア市内のショッピングセンター「ガレリア・サント・ドミンゴ」付近路上を被害者 2 名が歩行中、若い男ら 5、6 名が後方から徒歩で接近し、ナイフを突きつけて脅迫したため、所持していた鞆を差し出したところ、男らは危害を加えることなく逃走した。

（3）10 月から 12 月に発生した凶悪犯罪の例

ア 強盗殺人

10 月 1 日（土）午後、リオサンフアン県エルカステヨー地区で、現金を運んでいたカカオ輸出企業の車両が、それを警護する警察と共に移動していたところ、拳銃を所持した集団に襲われ、企業の職員男性と警察官の女性が拳銃で撃たれ死亡、他 4 名が負傷した。目撃者の証言によると、犯人ら 10 名が車両を待ち伏せし襲ったとされる。

イ 強盗

11 月 1 日（火）（時間帯不明）マナグア市アルタリマ地区のコンビニエンスストア駐車場で、買い物を終えた若い夫婦と女兒が男 2 名に拳銃で脅され、携帯電話を奪われた。犯人らは徒歩で逃走した。

ウ 強盗

11月4日（金）（時間帯不明）マナグア市パルマラット近くのスポーツバーに拳銃を所持した二人組が押し入り、従業員男性1名と客1名が拳銃を突きつけられ携帯電話を奪われた。その様子に気付いた他の男性客が、携帯していたピストルを犯人らに向けて発砲、これに犯人らが応酬し、発砲した男性客が負傷した。犯人らは付近に止めていた車両で逃走した。

エ 強盗

11月7日（月）夜間、マナグア市ワスパンスル地区でタクシー運転手が乗客を乗せ走行中、オートバイが行く手を阻むように停車し、言いがかりをつけられ口論となった。更に共犯と思われるオートバイの二人組が現れ、タクシー運転手の足に拳銃を4発発砲。また、乗客の男性が逃げ出すと背後から発砲し、男性客は背中に重傷を負った。付近住民が騒ぎたため犯人はバイクで逃走した。強盗目的の犯行とみられる。

オ 強盗

11月8日（火）夜間、マナグア市マサヤ街道19.8キロ地点にある中華料理店にオートバイの二人組が乗り付け、うち1名が店内で食事をしていた3名の客を銃器で脅し、携帯電話と所持金を奪いバイクで逃走した。

カ 強盗殺人

11月12日（土）夜間、マナグア県マテアレ市新レオン街道17キロ地点にある焼き肉レストランに、徒歩で現れた四人組の強盗が店内に押し入り、うち1名が拳銃を発砲。家族と食事中であった13歳の少女が胸に被弾し死亡した。レストラン店長が自身の拳銃で応酬したが、犯人らも発砲しながら逃走した。

キ 強盗殺人

11月25日（金）夜間、レオン県レオン市で仕事帰りにタクシーを利用していた夫婦が、タクシー運転手と途中からタクシーに乗り込んできた共犯者からナイフで脅され金品を要求された。助手席に乗っていた夫は飛び降りたが、逃げ遅れた妻は、後に遺体で発見された。

ク 傷害致死

11月27日（日）午前5時、マサヤ県ナンダイメ市市役所近くの換金商で男性がドルを換金しようとしたところ、レートが不当であったことから口論となり、換金商の二人組から頭部を殴打された。男性は別の場所で換金し帰宅したが、その後容態が急変し、病院に運ばれたが死亡した。

ケ 誘拐

12月11日（日）午後、南カリブ沿岸自治区バリオポブレ地区において誘拐されていた15歳少年が救出された。発生日は明らかにされていないが、チョンタレス県サントドミンゴ市で仕事に向かった少年が行方不明となり、その後犯人から家族に対し3万ドルを請求する電話があったもの。

3 テロ・爆弾事件発生状況

発生なし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 日本人・外国人に対する誘拐事件

認知していない

(2) ニカラグア人に対する誘拐事件

2022 年中の身代金目的誘拐の認知件数は 6 件

5 日本企業の安全に関する諸問題

日本企業が直接標的とされた脅迫、破壊行為、嫌がらせ、バッシング、デモ等は認知していない